

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
2025年度 第5回 FD・SD委員会
議事次第

日 時：2026年3月23日（月）メール審議

回答期限：2026年3月26日（木）正午

委員校：甲南大学（委員長校）・神戸市看護大学（副委員長校）

芦屋大学、関西国際大学、関西学院大学、関西学院短期大学、神戸大学、
神戸学院大学、神戸国際大学、神戸松蔭大学、神戸女子大学、神戸女子短期大学、
神戸親和大学、神戸常盤大学、神戸薬科大学、園田学園大学、宝塚医療大学、兵庫大学、
兵庫大学短期大学部、兵庫教育大学、兵庫県立大学、流通科学大学 計22校

I. 審議事項

1. 2025年度 FD・SD委員会 事業報告・決算（案）について （資料1）
 - ①加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開
 - ②FD・SD情報交換会、セミナー等の開催

標記に関し、森理事長から各事業委員会に、資料1-1のとおり依頼があった。
資料1-2「2025年度事業報告案」および「決算案」について審議。

以上

<資料一覧>

【審議事項1】資料1-1：2026年度事業計画・予算(案)及び2025年度事業報告・決算(案)の
作成について（依頼）

【審議事項1】資料1-2：2025年度FD・SD委員会事業報告・決算（案）

2026年2月吉日

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
事業委員会 委員長 各位

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
理事長 森 康俊

2026年度事業計画・予算（案）及び2025年度事業報告・決算（案）の作成について（依頼）

拝啓 寒冷の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は当コンソーシアムの活動に深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、標記の件につきまして、下記のとおりご提出いただきますよう、よろしくお願いいたします。

なお、2026年度事業計画の作成にあたっては、2025年度の各事業委員会の自己評価をもとに企画運営委員会及び理事会にて作成した改善提案の内容を踏まえてご検討いただきますようお願いいたします。ご不明な点がございましたら、事務局までお問い合わせください。

敬具

記

1. 2026年度事業計画・予算（案）及び2025年度事業報告・決算（案）の作成・提出

(1) 2026年度事業計画・予算【鑑】（案）

提出期限：2026年2月13日（金）正午

(2) 2026年度事業計画・予算【詳細】（案）

提出期限：2026年5月7日（木）正午

※第7回理事会(1/30)において来年度の各委員会事業に対する予算が承認されました。

委員会事業予算（総額）：600万

(3) 2025年度事業報告・決算（案）

提出期限：2026年3月26日（木）正午

2. 今後のスケジュール

(1) 「2026年度事業計画・予算（案）」

2026年3月26日 第8回理事会にて審議・決定

2026年6月（予定） 定時総会にて報告

(2) 「2025年度事業報告・決算（案）」

2026年4月（予定） 2026年度第1回理事会にて審議、定時総会に上程

2026年6月（予定） 定時総会にて審議・決定

（添付書類）

- ・添付1) 2025年度 各事業委員会活動の自己評価に対する改善提案
- ・添付2) 2026年度 【記入用】事業計画・予算（案）
- ・添付3) 2025年度 【記入用】事業報告・決算（案）

以上

【2025年度 FD・SD委員会 事業計画・自己評価・事業報告】(案)

○目的 大学コンソーシアムひょうご神戸中長期計画Ⅱ期の柱「3. 県内大学の教育・研究の質を高める多元的学びの提供」の推進に向けて、以下の取組課題について、事業推進を行う。

【取組課題⑥】大学教職員の研修機会の提供と交流の促進
 教職員の資質を向上させることを目的とした研修の機会を継続的に提供する。県下の大学等高等教育機関の関係者に研修交流機会を提供することにより、相互の立場で具体的な施策に結びつく議論が行われる、闊達な意見交換の場を創出する。
 以上の体制の構築並びに、必要な取り組みは本委員会にて実施する。

○委員校 (全：22校)
 委員長校：甲南大学、副委員長校：神戸市看護大学
 委員校：芦屋大学、関西国際大学、関西学院大学、関西学院短期大学、神戸大学、神戸学院大学、神戸国際大学、神戸松蔭大学、神戸女子大学、神戸女子短期大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、神戸薬科大学、園田学園大学、宝塚医療大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、兵庫教育大学、兵庫県立大学、流通科学大学

○中長期計画Ⅱ期の取組課題/達成目標/活動指標/予算等

課題及び期待される効果	取組	達成目標	活動指標	予算(千円)
課題⑥ 大学教職員の研修機会の提供と交流の促進 1. 加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開 通年を通して情報共有の仕組みを構築し、大学間で多様な研修プログラムを共有することにより、加盟校教職員の資質向上に寄与することが期待できる。	1. 加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開	各年セミナー5件以上	参加者数100人以上/年	60
課題⑥ 大学教職員の研修機会の提供と交流の促進 2. FD・SD情報交換会、セミナー等の開催 大学教育が直面している喫緊の課題に関する情報を共有することにより、高等教育改革推進に関する教職員の意欲を高める効果が期待できる。また、加盟校の担当者間での情報交換を通じて、大学間の人材交流の促進も期待できる。	2. FD・SD情報交換会、セミナー等の開催	各年参加者数50名以上	開催数：3回以上/年	440

【2025年度 FD・SD委員会 事業計画（⑥取組1）】加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開

計画（4月記載）			自己評価（12月記載）			報告（3月記載）				
<p>1. 情報収集 Webフォームにて加盟校のFD・SDセミナー（学外公開可のもの）の情報収集を行う。</p> <p>2. 情報提供 加盟校のFD・SDセミナーの情報について、大学コンソーシアムひょうご神戸よりメール周知ならびにホームページ上での公開等により情報共有を行う。</p> <p>3. 定期的な協力依頼 半年に1回程度、加盟校へのFD・SDセミナーの情報提供依頼を実施するなど、適宜、本取組組みへの理解と協力を求める。</p> <p>※【参考】2024年度の情報提供テーマ例 「生徒化する大学生」 「障害理解セミナー」 「数理・データサイエンス・AI教育 FDシンポジウム2025」</p>			<p><活動内容> 1. 情報収集 Webフォームを活用した情報共有の仕組みを用いて、通年で各校から学外公開可能なFD・SDセミナー情報を受け付けた。</p> <p>2. 情報提供 加盟校のFD・SDセミナーの情報を、毎月配信するメールマガジンで案内するとともに、大学コンソーシアムひょうご神戸HPにも掲載し、広く情報提供を行った。 ・メルマガ配信：7回 ・掲載セミナー数：8校7件 ・セミナー参加者数：728名</p> <p>3. 定期的な協力依頼 第1回FD・SD委員会（2025年5月2日）にて、加盟校へFD・SDセミナーの情報提供を依頼した。</p> <p><自己評価> 加盟校によるFD・SDセミナーの公開については、加盟校に広く周知されている。10月末現在で8校7件のセミナーが公開され、728名が参加した。本取組は、加盟校が大学間で連携・協力しながら、教職員の資質向上を図る研修と交流の機会を提供するものであり、有益であるとともに、今後も継続すべき取組であると考えている。</p>			<p><活動内容> 1. 情報収集 Webフォームを活用した情報共有の仕組みを用いて、通年で各校から学外公開可能なFD・SDセミナー情報を受け付けた。</p> <p>2. 情報提供 加盟校のFD・SDセミナーの情報を、毎月配信するメールマガジンで案内するとともに、大学コンソーシアムひょうご神戸HPにも掲載し、広く情報提供を行った。 ・メルマガ配信：12件 ・掲載セミナー数：9校13件 ・セミナー参加者数：1,114名(2026年3月27日甲南大学実施のセミナーについては後日追記)</p> <p>3. 定期的な協力依頼 第1回FD・SD委員会（2025年5月2日）にて、加盟校へFD・SDセミナーの情報提供を依頼した。</p> <p><報告> 加盟校によるFD・SDセミナーの公開については、加盟校に広く周知されている。Webフォームを活用した情報収集およびメールマガジン・ホームページによる周知を行い、加盟校が実施するFD・SDセミナーの情報共有を図った。9校13件のセミナーが公開され、延べ1,114名が参加した。また、活動指標については、今年度実績および理事会からの改善提案を踏まえて、次年度の目標数値を「主催大学以外の加盟校参加者数：100人以上/年」に変更する予定である。本取組は、加盟校が大学間で連携・協力しながら、教職員の資質向上を図る研修と交流の機会を提供するものであり、有益であるとともに、今後も継続すべき取組であると考えている。</p>				
達成目標に対する実績 【達成目標】各年セミナー5件以上			公開セミナー：8校7件			公開セミナー：9校13件				
活動指標に対する実績 【活動指標】参加者数100人以上/年			参加者数：728名			参加者数：1,114名				
自己評価基準：対到達目標※			4			-				
自己評価基準：対継続性※			4			-				
事業収支	収入	60,000円	支出	0円	収支	60,000円	支出	60,000円	収支	0円

理事会からの改善提案（次年度事業計画に反映）

加盟校が実施するFD・SDセミナーについて、情報共有の仕組みを構築し、加盟校へ適切に周知することで、多くの教職員の資質向上に寄与している点は高く評価できる。現時点で、活動指標・達成目標を達成していることから、その効果が確認できる。引き続き、加盟校のニーズを丁寧に把握し、それらを反映したFD・SDの取組を継続的に進めることで、より効果的な事業展開となることを期待したい。また、実態に即した活動指標についても、検討いただきたい。

※自己評価基準：対到達目標	4：当初計画を上回って達成 3：当初計画を達成 2：当初計画をやや下回った 1：当初計画を下回った	※自己評価基準：対継続性	4：本プログラムは継続すべき 3：本プログラムは継続しても良い 2：本プログラムの継続には改善が必要 1：本プログラムは中止すべき
---------------	--	--------------	--

【2025年度 FD・SD委員会 事業計画（⑥取組2）】FD・SD情報交換会、セミナー等の開催

計画（4月記載）		自己評価（12月記載）			報告（3月記載）					
<p>1. 大学教育等に関する講演会等の開催</p> <p>●テーマ 学修成果の把握・可視化のためのアンケート作成について（予定） ○講師：東京科学大学 森雅生先生、松本清先生（予定） ○日時：2025年11月～12月（予定）</p> <p>2. 内部質保証システム等に関するFD・SDセミナー等の開催</p> <p>●テーマ① ※FD・SD共通化としての研修を予定 ○講師：近畿大学 IR・教育支援センター准教授 竹中喜一先生（予定） ○日時：2025年9月3日（予定） ○開催方法：対面（予定）</p> <p>●テーマ② ※認証評価に関する研修、セミナー等を予定 （受審大学による受審経験に関する講演/認証評価基礎FD・SD/実務者向けFD・SD等を検討） ○講師：神戸大学 戦略企画室 教授 高田英一先生（予定） ○日時：2026年2月～3月</p>		<p><活動内容></p> <p>1. 大学教育等に関する講演会等の開催</p> <p>●テーマ：学修成果の把握・可視化のためのアンケート設計 ○講師：東京科学大学 森雅生先生、松本清先生 ○日時：2025年11月20日（予定） ○開催方法：オンライン（アーカイブ配信あり）</p> <p>2. 内部質保証システム等に関するFD・SDセミナー等の開催</p> <p>●テーマ①：大学教職員共通スキルとしてのデータ分析研修 ※FD・SD共通化研修として実施 ○講師：近畿大学 IR・教育支援センター准教授 竹中喜一先生 ○日時：2025年9月3日 ○開催方法：対面 ○参加者数：41名（加盟校：10校28名、非加盟校：10校12名、講師1名） ○内容：大学において重要性が高まっているデータ分析スキルの習得・向上を図るとともに、加盟校間でのFD・SDの共通化による教職員研修業務の効率化を目的として開催した。研修では、単なる知識の習得にとどまらず、Excelを用いたハンズオン形式の実習を行い、データ分析手法の実践的な活用を意識した内容とした。また、参加者をグループに分けて実習を行ったことで、様々な着眼点を共有し、相互に学び合う機会となった。</p> <p>●テーマ②：認証評価に関するFD・SD研修 ○講師：神戸大学 戦略企画室 教授 高田英一先生 ○日時：2026年2月10日（予定） ○開催方法：対面・オンライン併用</p>			<p><活動内容></p> <p>1. 大学教育等に関する講演会等の開催</p> <p>●テーマ：学修成果の把握・可視化のためのアンケート設計 ○講師：東京科学大学 森雅生先生、松本清先生 ○日時：2025年11月20日 ○開催方法：オンライン（アーカイブ配信あり） ○参加者数：243名（加盟校16校39名、非加盟校136校204名） ○内容：教職員の資質向上や大学間交流の促進を目的に、学修成果の把握・可視化やアンケート設計を学ぶ研修を実施。講演と実習を通じ、参加者243名が意見交換や学び合いを行った。アンケートでは満足度69.5%、業務への有用性82.1%と高評価を得た。</p> <p>2. 内部質保証システム等に関するFD・SDセミナー等の開催</p> <p>●テーマ①：大学教職員共通スキルとしてのデータ分析研修 ※FD・SD共通化研修として実施 ○講師：近畿大学 IR・教育支援センター准教授 竹中喜一先生 ○日時：2025年9月3日 ○開催方法：対面 ○参加者数：41名（加盟校：10校28名、非加盟校：10校12名、講師1名） ○内容：大学において重要性が高まっているデータ分析スキルの習得・向上を図るとともに、加盟校間でのFD・SDの共通化による教職員研修業務の効率化を目的として開催した。研修では、単なる知識の習得にとどまらず、Excelを用いたハンズオン形式の実習を行い、データ分析手法の実践的な活用を意識した内容とした。また、参加者をグループに分けて実習を行ったことで、様々な着眼点を共有し、相互に学び合う機会となった。</p> <p>●テーマ②：認証評価に関するFD・SD研修 ○講師：神戸大学 戦略企画室 教授 高田英一先生 ○日時：2026年2月10日 ○開催方法：対面・オンライン併用 ○参加者数：176名（参加者：第一部145名、第二部30名、講師：1名） 加盟校第一部15校29名 非加盟校80校116名 加盟校第二部5校9名 非加盟校20校21名 ○内容：認証評価制度を踏まえ、内部質保証と自己評価書作成の理解向上を目的に研修を実施。第一部講演はオンラインで多くの参加者が受講し、認証評価の動向や内部質保証のポイントを学んだ。第二部ワークショップでは、現地参加者が自己評価書を確認し、意見交換を行った。アンケートでは、第一部の満足度が93.8%、第二部が100%で、業務への有用性も高く、高評価を得た。</p>					
達成目標に対する実績 【達成目標】各年参加者数50名以上		参加者数：41名 (10月31日現在)			参加者数：460名					
活動指標に対する実績 【活動指標】開催数：3回以上/年		開催数：1回			開催数：3回					
自己評価基準：対到達目標※		4			-					
自己評価基準：対継続性※		4			-					
事業収支	収入	440,000円	支出	32,940円	収支	407,060円	支出	264,381円	収支	175,619円

理事会からの改善提案（次年度事業計画に反映）

大学運営上の課題について、加盟校間でFD・SDの共通化を図り、教職員研修業務の効率化を目的としたセミナーを企画・実施している点は評価できる。引き続き、計画に沿って着実にセミナーを開催し、安定的な研修機会を提供するとともに、加盟校教職員間の交流促進にもつながる取組を期待したい。

※自己評価基準：対到達目標	4：当初計画を上回って達成 2：当初計画をやや下回った	3：当初計画を達成 1：当初計画を下回った	※自己評価基準：対継続性	4：本プログラムは継続すべき 2：本プログラムの継続には改善が必要	3：本プログラムは継続しても良い 1：本プログラムは中止すべき
---------------	--------------------------------	--------------------------	--------------	--------------------------------------	------------------------------------

【2025年度 FD・SD委員会 事業決算】(案)

(単位：円)

	予算	決算	各プログラム 予算・決算						委員会 予算・決算			
			取組1			取組2						
			加盟校が実施する FD・SDセミナーの公開			FD・SD情報交換会、 セミナー等の開催			内訳	予算額	決算額	
			内訳	予算額	決算額	内訳	予算額	決算額				
収入	会費収入	600,000	600,000		60,000	60,000		440,000	440,000		100,000	100,000
	助成事業収入	0	0									
	受託事業収入	0	0									
	プログラム収入	0	0									
	雑収入	0	0									
	戻入金	0	0									
	計	600,000	600,000		60,000	60,000		440,000	440,000		100,000	100,000
支出	会議費	40,000	0				情報交換会・懇親会	30,000		会議費	10,000	
	旅費交通費	70,000	36,282				講師等交通費	60,000	36,282	旅費交通費	10,000	
	通信運搬費	60,000	65,367				通信運搬費	30,000	21,362	通信運搬費	30,000	44,005
	消耗品費	19,000	14,878				消耗品費	10,000	12,878	消耗品費	9,000	2,000
	新聞図書費	0	0									
	印刷製本費	65,000	71,934				資料コピー代	65,000	71,934			
	光熱水料費	0	0									
	賃借料	30,000	0				会場費等	20,000		会場費等	10,000	
	保険料	0	0									
	謝金	220,000	120,000				講師謝金等	220,000	120,000			
	租税公課	0	0									
	支払手数料	6,000	2,145				振込手数料	5,000	1,925	振込手数料	1,000	220
	諸会費	0	0									
	委託費	90,000	88,000	HP更新費等	60,000	60,000				各プログラムHP等に 係る予備費	30,000	28,000
	人件費	0	0									
	接待交際費	0	0									
	支払支援金	0	0									
	雑費	0	0									
	計	600,000	398,606		60,000	60,000		440,000	264,381		100,000	74,225

収入－支出	201,394
-------	---------